

!!!!!!!!!!!!!! 初めにお読みください !!!!!!!!!!!!!!!

この度は弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただき正当な評価をしていただくため、
特に御注意いただきたい事項について以下に記載いたしますので、
御一読いただき考慮していただきますようお願い申し上げます。

カプセルの高さが通常の試料台の高さよりも高いことに御注意ください。
カプセルの SEM 試料室への導入は、カプセルが反射電子検出器に接触しないように十分サンプルステージを下げた状態でおこなってください。サンプルステージを移動してワーキングディスタンスを変更する際は、カプセルの最も高い位置（カプセルの縁）で調整をおこなうようにしてください。カプセルが検出器に衝突すると検出器の故障原因になることがあります。

SEM イメージング時、初めに二次電子モードでカプセルのグリッドの表面を利用してフォーカスを合わせ、その後反射電子モードに切り替えてサンプルを観察することをお勧めします。
（初めは加速電圧 30kV・スポットサイズは中間サイズより小さいサイズでお試してください。）
SEM イメージングの詳細は QuickGuide for Imaging with WETSEM を御覧ください。

ご使用の SEM が正しく動作しているか確認するため、また本製品を使用した SEM イメージングを練習するため、ご覧になりたいサンプルの観察準備をされる前にポジティブコントロールとしてキャリブレーションカプセルを観察してください。キャリブレーションカプセルを使用した SEM イメージングの詳細はキャリブレーションカプセルのマニュアルおよび QuickGuide for Imaging with WETSEM を御覧ください。

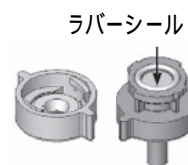
カプセルは、MP-10 マルチウェルプレート、MP-12 カプセルプレート または カプセルが入っていたケース以外の場所には置かないようにしてください。メンブレンが破損する恐れがあります。また、実験作業中にメンブレンがある面を指で触れないように御注意ください。

カプセルのメンブレンは大変デリケートです。カプセル (Liquid Dish) に液や試料を入れる際にはチップなどの先端がメンブレンに触れないよう十分御注意ください。触れますとメンブレンが破損し、カプセルが使用不可になります。試料導入量は QX-102 の場合 15 μ L です。



チップの先端を深く入れすぎないでください

SEM イメージング時にカプセルの機密性を保つため、カプセルを締める時に蓋 (Stub) のラバーシールが正しく装着されているか確認してから締めてください。（QX-302 の場合は O-ring）



ラバーシールは凹凸がある面がサンプル側です

作業を始める前に付属の各種マニュアルを御熟読ください。